学校教育目標

生きる力をはぐくみ、幸せな未来を拓く児童の育成

【目指す学校像】

一人一人が大切にされる、一人一人を大切にできる加茂小学校

「Society5.0」を
生き抜く児童
well-being

【目指す教師像】

- ◇子ども理解に努め、子どもの思いを汲み取ることができる教師
- ◇分かる・できる楽しい授業を目指し、授業で勝負できる教師
- ◇常に課題を持ち、自らを高める教師
- ◇多様な集団と関わりながら、課題に向き合える教師
- ◇教育の動向を把握し、教育課題に対応しようとする教師

目指す児童像

かしこく

- ・学びに向き合える子
- ・学ぶ楽しさを感じられる子

やさしく

- ・他者と協働できる子
- ・礼儀やマナー、ルールを守って行動できる子

たのもしく

- ・目標を設定し、目標に向かって努力できる子
- ・困難に立ち向かい、粘り強く取り組める子

確かな学力をはぐくむ

- 「主体的・対話的で深い学び」の授業
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 基礎・基本の定着、向上のための取組(補習等)
- プログラミング教育
- ICT機器の利活用等(タブレットの活用の充実)

- ◇総合的な学習の時間 ◇国際理解教育 ◇図書館教育
- ◇各教科教育

豊かな人間性と規範意識をはぐくむ

- 考え議論する道徳授業
- 共生社会の実現を目指した人権教育(同和教育を柱)
- 一人一人の自立と社会参加を目指した特別支援教育
- 情報モラルの向上
- 系統的なキャリア教育等

- ◇道徳教育 ◇人権教育 ◇特別支援教育 ◇安全教育
- ◇情報教育 ◇環境教育 ◇キャリア教育 ◇生徒指導

健やかな心と体をはぐくむ

- 食文化・マナーの理解と定着、感謝の気持ちの醸成
- 食物アレルギー対応の理解と協働・連携体制の確立
- 体力の向上(日常の遊びと計画的、継続的な取組)
- ワクワク感、やる気、達成感を大切にしたい集団づくり
- 児童一人一人が活躍できる特別活動・学校行事

- ◇給食教育 ◇食育 ◇健康教育 ◇特別活動
- ◇学校行事(市陸上交感記録会・) ◇生徒指導

発達支持的生徒指導を踏まえた教育活動

- 家庭学習P-up週間 ○きらり学習 ○個別学習等
- ◇全テ、府診断テ、市統一テ等の分析
- ◇校内研修等 ◇言語能力の育成(言葉タイム)

- 月別生活目標の取組 ○系統的な人権学習
- 「みそあじ運動」○お話週間 ○キャリアパスポートの活用
- ◇人権教育の視点での学級経営
- ◇特別支援教育の視点での児童理解◇校内研修等

- 食育の取組 ○きらりチャレンジ○運動会 ○マラソン記録会
- 薬物乱用防止教室等 ○メンタルヘルス予防教育
- ◇健康観察 ◇外遊びの工夫・改善 ◇校内研修等

★ 学力テスト5ポイントアップ

★ 学校評価における肯定的評価8割以上

★ 1日の運動時間 60分以上・残飯の削減

【研究主題】(R6) R7については再考
自らの学びを調整し、自ら学ぼうとする子の育成
～自己認識・自己決定を取り入れた複線型の学び～

- ◇個別最適な学び
- ◇協働的な学び
- ◇ICTの効果的な活用

- ◇自ら学ぶ力
- ◇自己調整力
- ◇メタ認知・自己評価力

地域資源の活用(PBLの継続)

加茂ブロック保・小・中連携(学園構想)

家庭・PTAとの連携

全ての子どもを「愛情」と「信頼」と「期待」とで包み込む